



YU-Information

No.131 オープンキャンパス特別号

特集：山大生のリアル



感じてみる!!
考えるより

*Don't Think.
Feel.*





YU-INFORMATION

No.131

山口大学広報誌

オープンキャンパス特別号／2017



Cover Story

[今月の表紙]

スマホで山口大学のSNSをチェック。
そしてスマホの中では分からぬリアルを、
あなたの目で確かめに来てください。
山口大学に来てみると、とても緑の多いキャ
ンパスだと気がつきます。
歩き疲れたら総合図書館のカフェでドリンク
を手に入れ、キャンパスに点在する東屋で休
憩してはいかがですか？
オープンキャンパス2017のテーマは
「百聞は一見に如かず Feeling」
実際に山口大学のキャンパスを歩いて、あな
た自身を感じてください。

Don't Think. Feel.

Contents

03

特集 山大生のリアル オシエテ！ センパイ

- どうして山大を選んだのですか？
- 高校との違いや入学して驚いたことは何ですか？
- 受験生へのメッセージをお願いします。

06 山大の魅力 教えます

07 地(知)の拠点大学による
地方創生推進事業(COC+)

09 おもしろプロジェクト

10 「テクノロジー×アート」
チャレンジ講座

11 クラブ&サークル

13 山口大学基金



LINE × @yamaguchih-u

山口大学公式アカウントで入試情報配信中！
LINEの「友達追加」から「ID検索」または
「QRコード」で登録してね♪

ID検索
↓
@yamaguchih-u





Don't Think. Feel.



感
じ
て
み
る!!

Special Feature

山口大学の教育理念は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」です。この冊子には高校までとは違う、山口大学生の学びのリアルが隠されています。それを見つけるヒントとして先輩から皆さんへ3つのテーマで語ってもらいました。山口大学には、いろいろな学びの場が宝物のように散らばっています。その中から、オールやまぐちで取り組む「課題解決型インターンシップ」、学生の自主活動を支援する「おもしろプロジェクト」、未来の起業家・クリエイターを育てる「テクノロジー × アート チャレンジ講座」を紹介します。

どうして山大を選んだのですか？

理学部 森田 萩乃さん *Morita Hagino*

オープンキャンパスで魅力を体感！

大学選びの決め手は、オープンキャンパスに参加して、大学を感じられたことです。初めて本学を見学したとき、高校とは比べものにならないくらい広々としたキャンパスに驚き、とてもきれいで気持ち良く授業を受けられる環境だと感じました。蔵書冊数が多く、自習スペースが設けられた図書館や、就職活動をサポートしてくれる就職支援室など、充実した施設も魅力的でした。そして、何よりも印象に残ったのは、アットホームな雰囲

気です。理学部の先輩方の和気あいあいとした姿を見て、楽しそうな大学だなと思いました。また、海外の大学との交流に力を入れていることも知り、将来の選択肢の幅が広がるのではないかと考えました。学生主体の地域向けのイベント「サイエンスワールド」^{*}にも興味を覚えました。理科の魅力を地域の人に伝えると同時に、地域の活性化にもつながる楽しい企画です。理学部に入学を希望されている方は、ぜひ参加してみてください！

※【ご案内】サイエンスワールド2017 11月12日(日)吉田キャンパスにおいて開催決定



教育学部

永見 美乃さん

Nagami Yoshino

住みやすそうな
環境にひかれて



ホームページをチェックして、在籍されている教授が古典や文学、言語など、私が興味を持っている分野を研究されていたこと、充実した学習環境などのイメージも良かったことから、本学に進学を決めました。大学の立地や下宿などの条件が良く、住みやすそうな場所だと感じたことも理由の一つです。大学周辺には、スーパーやコンビニなどがあり、生活に必要なものはたいてい揃います。敷金や礼金、仲介手数料がお得な学生アパートも多く、初めての一人暮らしも安心です。学内の総合図書館には、パソコンとプリンターが設置された部屋や、グループで会話をしながら学習できるスペースなどもあるため、勉強するのにとっても役立っています。また、自転車で通える範囲内に県立図書館や市立図書館があるため、レポートを書くときの資料も豊富に揃います。一人暮らしを始める皆さん、環境の変化に対する不安もあるかもしれません、山大は皆さんのが想像以上に楽しい場所だと思いますよ！

国際総合科学部

林 高輝さん

Hayashi Takaharu

文理融合の
ユニークな
学びに注目！



国際協力に強い関心があり、将来は教育分野での世界的支援を行いたいと考えていました。国際総合科学部^{*}を選んだのは、そのために必要とされる文系・理系を問わない幅広い学識、グループワークによる課題解決能力やコミュニケーション能力といった実践力を身に付けることで、自分の将来への道筋が見えてくるのではないかと感じたからです。高校2年生のときに新設された学部だったことも、とても魅力的に映りました。また、複数の学部が設置された総合大学であるため、専門や背景が異なる学友に出会えることにも期待を寄せました。新たな視点や考え方出会い、日々変化を起こしていることも、山大の魅力だと思います。加えて、フィリピンへの短期語学研修や、世界各国への1年間の交換留学制度、インターンシップなどの研修制度も充実しています。自分を成長させたい人にとっては最高の学びの場だと思います。

※平成27年度、特色ある本学第9番目の学部として誕生しました。

高校との違いや入学して驚いたことは何ですか？

人文学部

辻本 葵さん

Tuzimoto Aoi

自分で考え、
答えを見つける
面白さ



入学当時、九州、中国四国地方には歴史学を専門に学べる人文

学部を持つ大学は限られており、山口大学はその数少ない大学のうちの一つでした。本学の人文学部には、日本史、東洋史、西洋史、考古学と幅広い学びの機会が提供されています。特に、私が一番勉強したかった日本古代史を専攻できる人文学科歴史学コースは、まさに理想通りの勉強ができる環境でした。大学で学ぶ歴史学は、中学や高校で学んできた日本史や世界史とは大きく異なります。事実を暗記するのではなく、実際の史料を手がかりに、そこに隠された真実を自分で考察していく面白さを実感しています。初めは授業についていくのがやっとでしたが、次第に古文書が読めるようになり、達成感が出てきました。また、課外活動として、大学内の図書館の学生団体である「学生協働」に所属し、簡易なレファレンスやイベントの企画、展示物の作成などを行っています。活動を通じて、人前で話すことへの苦手意識が克服できることも大きな収穫でした。

共同獣医学部

萩野 詩季さん

Hagino Shiki

刺激的な
さまざまな
価値観との出会い



平成24年度に開設された共同獣医学部は、山口大学と鹿児島

大学による全国初の共同学部です。ここには、全国各地や世界から価値観や思考の違う学生が集まっています。高校まで地元で過ごした私は、初めて出会う価値観にとどまい、思い悩むこともありました。しかし今では、その出会いがコミュニケーション能力を育て、自分の人間性を豊かにしてくれたのだと感じています。また、ボタルの保護活動を行う学内サークルや、和太鼓の社会人団体に入るなど、課外活動も楽しみ、充実した学生生活を送っています。アルバイト先では留学生の友達がたくさんできました。一緒に遊んだり、互いに困ったことがあればすぐに駆けつけたりと、国境を越えた温かい交流を育んでいます。留学生の友達のおかげで中国に興味をもつようになったため、現在、中国語と中国の歴史についても勉強しています。互いに刺激し合い、切磋琢磨できる、恵まれた環境だと感じています。

医学部

口分田 啓さん *Kumode Satoshi*

勉強だけに終わらない大学生活の醍醐味！

医学部生はコミュニティが狭くなりがちなので、勉強の合間に部活動やサークル活動、アルバイトを経験して、自分の世界を広げるようになっています。私が所属しているのは、サッカー部と国際医療研究会です。サッカー部は週に3回、大学のグラウンドや近くの人工芝グラウンドで練習を行い、他大学との試合にも出ています。国際医療研究会には、さまざまな活動をしている人が集まります。夏休みに数人で海外ボランティアを体験し

たり、著名な講師を招いて講演会を開いたりといった活動を行い、これらの体験を月に1回、茶話会で共有しています。部活動の拠点の多くは吉田キャンパスですが、医学部自治会が吉田一小串キャンパス間で送迎用のバスを運行しているので、2年生になってキャンパスを移ってからも問題なく部活に参加することができます。家庭教師や飲食店などのアルバイトの選択肢もたくさんありますよ。



受験生へのメッセージをお願いします。

経済学部

加藤 大貴さん

Kato Hiroki

受験は自分を
成長させてくれる
チャンス！

私が山口大学経済学部を選んだ理由は、全国的に見ても歴史

があり、学科やコースの選択肢が多い学部だったからです。受験生の皆さん、入学前に無理に志望学科を決める必要はありません。大学に入り、視野を広げてから、所属学科を決めれば良いのです。大学入学後に3学科5コースに分かれる選択肢がある学部は珍しいと思います。経済学部では、それぞれの学生がそれぞれの色を持って学んでおり、この自分の色を引き出す授業数が多いことが魅力です。例えば、経営に強い興味を持っているけれど、経済の授業も受けてみたいといった要望もかなえることができます。本学は自然が豊かで静かな場所にあります。勉強はもちろん、自分と向き合うのにも絶好的な環境が整っています。受験は大変だと思いますが、それを乗り越えて、大学合格を勝ち取ってください。大学受験は必ず人を成長させます。ぜひ本学で、その成長により一層の磨きをかけてください！



工学部

西原 圭美さん

Nishihara Tamami

リケジョのススメ！
卒業後の就職も
視野に入れて！



工学部は山口大学の中でも歴史のある学部で、これまで官民さまざま

なところに多くの先輩を輩出しています。企業見学や現場実習、就職活動を通して、たくさんのOB・OGの方々が、国内のみならず世界各国で活躍されていることを実感しています。また、自分の所属する学科だけでなく、他学科の同期や先輩と接する機会も多く、困ったときや進路のことなど気軽に相談できる環境だと思います。グローバル化に対応して、語学研修や技術研修などの留学サポートも充実しています。私もその支援を受けて留学した一人です。英語の勉強ができたこと、貴重な体験ができたことで、自分自身を成長させることができました。働き方改革の中で女性の社会的な活躍が推進されていることもあり、卒業後の進路を考えると、理系女子はかなり有利だと思います。ぜひ就職に強い工学部をめざして頑張ってください！

農学部 横井 友香さん *Yokoi Tomoka*

なりたい自分をイメージしてモチベーションをキープ！

進路を決定する際には、大学に入って何をしたいのか、具体的なイメージを持つことが大切です。そして、大学に入り、そのイメージを実現してほしいと思います。本学の学生のほとんどが、勉強はもちろんのこと、部活動やサークル、アルバイトなど一生懸命に取り組んでいます。こうした課外活動を通して、学部内はもちろん学内外の人とのつながりを広げていけるのが、大学生活の面白いと

ころです。自分と異なる環境にいる人と話すのは楽しいもの。人間関係を広げることは、視野を広げることにもつながると思います。もう一つ、知ってほしいのが「おもしろプロジェクト」です。これは、学生のユニークで独創的な企画に大学が資金援助する山大オリジナルの支援事業です。ぜひ皆さんも思う存分やってみたいことにチャレンジしてください。新たな出会いと発見があなたを待っていますよ。



総合大学ならではのスケール メリット！

9学部8研究科を有し、学生数は10,200人（うち留学生数は403人）*。

日本全国、世界各国から学生が集まる多彩な出会いの場です。

*平成29年5月1日現在

キャンパスの広さは TDLの2倍以上！

キャンパスの総面積はおよそ111万m²。

東京ディズニーランド（51万m²）の2倍以上の
広さを誇ります。



知れば知るほど行きたくなる! 山大の 魅力 教えます

日本で3番目に古い歴史ある大学！

1815年、長州藩士・上田鳳陽が創設した私塾「山口講堂」を源流とし、2015年に創立200周年を迎えました。東京大学、東北大学に次いで3番目に古い国立大学としての起源を誇ります。これまでの卒業生の数はおよそ11万人。日本全国、世界各国の幅広い分野で活躍しています。



国際交流を積極的にサポート！

平成28年度の海外派遣学生数は520人。世界35カ国の国・地域、140を超える大学・研究機関等と協定を締結しており、海外から留学生や教員を受け入れたり、海外へ留学したりと国際交流が活発に行われています。こうした交流を支えるのが、留学支援制度奨学金や海外での危機管理等の手厚いサポート体制です。また、海外からの留学生も多いため、キャンパス自体がグローバル！海外大学との国際交流を身近に感じることができます。

就職サポートによる 高い就職実績！

キャリア教育科目の開講、各種就職セミナー・説明会など、学生一人ひとりの進路に合わせたきめ細かな就職支援を行っています。平成28年度卒業生の就職内定率は94.6%。全国の大学の中でも高い就職率を誇ります。また、公務員試験に強いのも本学の特徴です。理系学部を中心に大学院への進学率が高い学部もあり、それぞれの希望と将来像に応じた進路の選択が可能です。

教育の充実！

専門教育はもちろんのこと、山口大学が誇る特徴ある共通教育として知的財産教育があります。文系・理系を問わず必修科目として全員が受講します。身近なアイテムを題材に、知的財産を活用して、新しい価値の創出を実践的に考える授業は、社会から高く評価されています。また、英語教育は、グローバル化を生き抜くための総合力とコミュニケーション能力が身につくよう工夫されています。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)
やまぐち未来創生リーダーを育成するための教育プログラム

出動！山大生

課題解決型インターンシップ

地域が大学！リアルな課題を解決！

事例 牛島 Internship Ushima

光市・牛島で海と山と牧場からシゴトをつくる！



インターンシップの目標

1. 始まりは感じること！ 光市・牛島の魅力や課題を感じることができる
2. 体験を通して想像・想いを結晶化！ 感じたことから地域の未来を思い描くことができる
3. そして誰かに伝える・新たな始まり！ 描いたことをアウトプットすることができる



1日目	地元観光企業やNPO法人などのゲストによるインスピレーショントークやフリーディスカッション
2日目	牛島探索、地元漁師さんとの交流、海でのアクティビティ
3日目	牧場体験、地元観光企業の職場見学など
4日目	プレゼンテーション(プラン提案)、フィードフォアード(実現にむけた講評)

全国最大規模
149団体
が連携

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) とは

若者の地元定着や企業が求める人材育成等を通じ人口減少と地域経済の縮小に歯止めをかけ、地方創生に繋げることを目的とした事業。山口大学をはじめ県内の高等教育機関12、地方自治体20、民間企業108、経済団体等9団体が連携し、「オールやまぐち」で若者の活躍を応援!する取り組みが始まっています。「やまぐち未来創生リーダーを育成するための教育プログラム」は、課題発見・解決力や挑戦・実践力など地域が求める能力を培うため、1年次から3年次までの段階的な教育プログラムで構成され、3年次には学びをかたちにすることを目的とした課題解決型インターンシップに取り組みます。

インターンシップに参加

平成28年 8月8日～11日

■参加者からプラン提案

体幹を鍛える



プラン 地元企業の健康体操教室で見たスラックライン × 海でやったら

【 youtube公開中 】



プラン 草刈り・海岸清掃 × 島の自然再生のこころみ

● 実現

プラン 牛島動画作成 × PR

● 実現

プラン 子どもたちの自然体験 × ボランティア

● 実現

◎起点

平成28年 8月

➡ 1ヵ月後

9月

➡ 2ヵ月後

10月

➡ 4ヵ月後

12月

体験学生代表

徐 睦実 (奈良県出身)

趣味は、ロードバイク。山口県内の
13市6町を制覇。
山口県は三方を海に囲まれ、気候穏やかな
美しい自然の宝庫！
美味しい食べもの、歴史、人との出会い！

そして課題解決型
インターンシップで
牛島へ



いよいよ、初対面の参加者13名が牛島を舞台に4日間のプログラムを開始します。牛島は光市室積港から南東へ8.4Km定期船で25分の位置にある、周囲12Km、面積1.96Km²のかつて漁業で栄えた島ですが、現在では学校も廃校となり、空き家が目立ち、島民約50名の島となっています。船で牛島へ到着。学生たちは、牛島の自然の美しさに感動！地元企業やNPO法人などのゲストによるインスピレーショントークやフリーディスカッションから牛島の問題を共有しました。

島

での体験、出会いを通して、参加学生の徐さんには、島のことをもっと知りたいという想いが芽生えてきました。そして自分たちが発信しなければ、誰にも知られず無くなっていくであろう牛島のことを、みんなにも知ってほしいという想い！につながりました。また、同時に牛島の魅力を大切に守るために「持続可能なプラン」について悩みが深まります。ブレーンストミングで仲間と気付きを共有しながら、牛島について考え抜いた4日間。最終日には、プラン提案のプレゼンテーションを行いました。

こうして4日間のプログラムが終わり…

そしてプラン実現へ



インターンシップを企画



企画開始



農地整備



実現

そして

インターンシップ
Ushima 2017
開催 !!

牛島での取り組みを
社会に知ってもらうための
挑戦は続く！

◎起点

平成29年1月

平成29年
5月

➡ 10ヵ月後
平成29年 6月

平成29年
7月

平成29年
8月



【おもしろプロジェクト】

学生の自主活動への資金支援制度を実施しています。

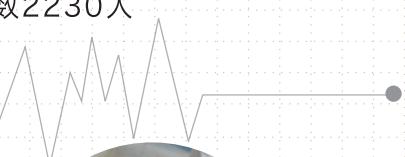
この制度には、「思う存分やってみて！試行錯誤にこそ主体的・創造的学びがあるよ！」というエール精神があります。

→ 企画内容への制限がほとんどない

→ 企画に対して最大50万円を支援

この20年間の支援企画数233件、参加学生数2230人

これまでの支援額はなんと約1億円！



20年以上続くおもしろプロジェクトの中から
「Code Orange(コード・オレンジ)」を紹介します。



心救命率の向上を目指し医学部学生が動きます！

AEDを用いた心肺蘇生法を行うことにより、助かる命があります。

コード・オレンジの学生たちは、多くの人に「いざというときは自分が助ける！」

という意識を持ってもらい、AEDの利用率を向上させるための講習会を行っています。

医学部医学科 植村愛子さんのコメント



市民イベントや学内の催しで講習会を広く行うことで、興味がなかった人たちにも
気楽に参加いただけます。

今年7月の山口大学七夕祭では、社会人や高校生、体育会の学生さんなど様々な方々に受講いただきました。リピーターとして定期的に受講される方や、クラブ活動の一環として受講するグループもあります。医学祭では、親子連れの受講者も。

コード・オレンジの目標は、社会に命を救う連鎖を生み出すこと！地道な活動を続けることで、救命救急のすそ野が広がればうれしいと思います。

活動スタートから9年目。現在60名余りが活動しています。

応急手当としての心肺蘇生法の講習会やスポーツ大会での救護ボランティアを通して、
受講者数は延べ3000人を超えました。

* 平成28年度心原性の心肺機能停止のうち一般市民が目撃したものは、およそ2万4千件と言われています。そのうち、AEDを用いて心肺蘇生法を行った場合には、50.6%の命が助かっています。しかし、一般市民によるAEDを用いた心肺蘇生法の実施割合は、残念ながら50%に満たない状況にあります。



AEDを用いた心肺蘇生法の
実施割合100%を
目指していきます！



コード・オレンジのネーミングの由来は

病院内で緊急事態が発生した場合に用いられる招集の救急コールを「コード・ブルー」といいます。山口県の特産品「夏みかん」のオレンジ色を組み合わせ、「コード・オレンジ」とすることで、山大らしさ、自分達らしさを表現しました。

TECH x ART

「テクノロジー × アート」チャレンジ講座

未来の起業家・
クリエイターを
育てる授業

テクノロジーとアートという異質な分野が融合することで、全く新しい世界が切り開かれます。この分野で世界的に活躍している「チームラボ」をはじめとする多くのクリエイター達が指導してくれます。そして共に学び、共に触発し合いながら、宇部市ときわ公園で開催される夏の「呼応する森と彫刻」や冬のイルミネーションイベント「TOKIWAファンタジア」の作品を製作していきます。異分野がぶつかり合う緊張感の中から未来の起業家・クリエイターが生まれるのであります！

➡ 参加学生のコメント

工学部感性デザイン工学科 佐藤 瞽太 さん

デジタルアート作品「呼応する森2016」では、湖畔の木々の光が人の動きにあわせて反応し、光の色を変化させ、音色を響かせながら伝播していく様子を1万人もの一般の方々に楽しんでいただきました。美しいファンタジーの世界を作り出したのは、赤外線で人の動きを感じ光を発する機械とそれを繋ぐ配線！そして人の動きを感じて情報発信し光を伝播させていくプログラム！デジタルアートは、高度な技術に支えられていることが分かると、もっともっと「ものづくり」が楽しくなります。チームラボの先輩が見せてくれた企業秘密の機械にも興味津々でした。今年は、ムービングライトを使用し、より複雑な動き、技術の高みを目指します。

【ご案内】呼応する森と彫刻（宇部市ときわ公園）
平成29年7月14日～8月31日開催

➡ 参加学生のコメント

工学部知能情報工学科

高田 淳平 さん

「TOKIWAファンタジア2016」では、人の特定の動作や声に反応する技術を用いて、アート作品「光の庭 - illumination installation」を展開しました。アイデアの始まりは、小さな試作品の箱、限られた予算(材料)で作成した試作品にサポーターが現れ、中国経済産業局長賞／実用新案取得に繋がりました。自分達の作品を公開しているサイトや動画をご覧ください。

<http://www.mono.eng.yamaguchi-u.ac.jp/garden/>



➡ 指導教員 工学部附属ものづくり創成センター准教授 小柴 满美子

「テクノロジー×アート」チャレンジ講座では、専門分野や学科の枠を超えて学生が集まり、ぶつかり合い、助け合いながら新しい発想が生まれます。学生たちがどんどん成長して行くことが分かる、スリリングで楽しい学びの場です。

「テクノロジー×アート」チャレンジ講座 とは

山口大学と宇部工業高等専門学校、工学部常盤キャンパスのある宇部市が連携し、テクノロジーとアートが融合する新しい分野の講義・演習を行っています。

ワテブ&サークル

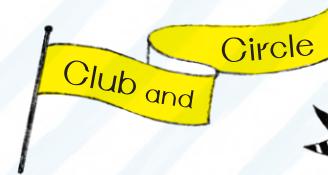
山口大学で活躍するクラブ・サークルなど
さまざまな活動をご紹介。



01 ボート部

体育会

初心者でも全国で結果を残せる、たいていの人が大学生で始めるスポーツです。受験生の皆さんも大学で何か新しいことを始めてみませんか？



02 洞穴研究会

文化会

秋方洞を再測量、総延長 10.3 キロ全国 3 位へ！新空間発見！山口大学ならではの研究会です。一緒に未踏の地を発見しよう！



03 アメリカンフットボール部

体育会

いつも明るく楽しくアメフトをやっています。かけがえのない仲間ができる良い部活です。



04 馬術部

体育会

受験生の皆さん！貴重な大学生活、馬と共に今しかできない事に力を注いでみませんか？



05 混声合唱団

文化会

混声合唱団です！男女・学年・学部を越えて、仲良く和気あいあいと活動しています！



06 男子ラクロス部

体育会

受験生の皆さん！男子ラクロス部で共に熱い大学生活を送ろう！



07 邦楽部

文化会

笛、三味線、尺八などの和楽器を演奏しています。新たな仲間とともに素敵なお稽古ができる事を楽しみにしています。



08 合気道同好会

同好会・愛好会等

合気道は誰でも生涯続けられる武道です。初心者も大歓迎です。ぜひ一緒に稽古に励みましょう！



09 やまぐちぬいぐるみ病院

同好会・愛好会等

保育園や幼稚園、学園祭などに出向き、小さい子どもたちを対象とした保健教育活動を行っているサークルです。



10 Breeze

同好会・愛好会等

異文化交流やボランティア活動に興味のある皆さん！ブリーズ(そよ風)は、国際交流活動を通じて、大学や地域とつながります。



11 ホタキに

同好会・愛好会等

ゲンジボタル幼虫の保護飼育、ホタル飛翔数の計測をしています。他の生き物やビオトープに興味がある方も歓迎です。



12 懇親団チアリーディング部 SCAMPISH

体育会

受験勉強は困難ですが、乗り越えた先には楽しい大学生活が待っています！



13 サッカーチーム

体育会

中国大学サッカーリーグ1部所属。大学でも熱くサッカーをしませんか？



14 Sing A Song

同好会・愛好会等

こんにちは！アカベラサークル SAS です！アカベラとは人の声だけで音楽をすることです（ハモネブみたいなやつ）ぜひ一緒にアカベラしましょう！



15 女子バレーボール部

体育会

練習とプライベートのメリハリをつけて頑張っています！経験者も興味がある方もぜひ！！待っています。



16 ヨット部

体育会

受験勉強頑張ってください !! 大学に入ればヨットなど楽しいことがあります !!



17 よさこいやっさん!!

同好会・愛好会等

よさこい鳴子踊りを通じて自らの心を躍らせる！！そしてお祭りに参加し地域を元気に！

体育会、文化会、大学祭実行委員会の合わせて52の大学公認団体と100を超える同好会・愛好会等が活動しています。

より詳しい
情報はこち
ら



山口大学基金

Y a m a g u c h i

271社の企業、延べ4559名の皆さま
からご厚意がよせられています！

※山口大学創基200周年記念募金を含む

200名以上の
学生に支援！

山口大学基金って何？

山口大学で学ぶ学生の皆さんのが安心して修学できるよう、経済的な支援を行うための基金として設立され、平成28年度から事業を開始しました。

どんな支援を行っているの？

1. 学生の経済的支援

家計の急変で授業料の支払いが困難になった学生や、留学等により奨学金の給付が途切れてしまった学生の修学を支援します。

2. 七村奨学金

山口大学独自の返還を要しない給付型奨学金。新入生の中から、経済的支援が必要で成績優秀な学生10名程度に奨学金を給付します。
(給付期間は修業年限の期間)

3. 学生の海外派遣支援

海外留学を希望する学生に、留学期間に応じて最大20万円の資金援助を行います。
平成28年度は、89名の学生の留学を支援しました。

4. 外国人留学生の支援

外国人留学生(大学院生)の修学支援のため、毎年10名に奨学金を給付します。

5. その他の学生支援

大会等で優秀な成績を挙げた課外活動団体を支援します。

誰が山口大学基金を支えているの？

山口大学基金は、本学の卒業生・同窓会・教職員、基金の目的に賛同していただいた企業・団体、地域住民や在学生の保護者の皆さんからいただいた募金をもとに運営されています。
本学では、これから多くの学生に支援を続けていくため、継続した募金活動を行っています。

山口大学基金をご支援ください。

詳しくは山口大学基金のサイトをご覧ください。
<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/kikin.html>



山口大学基金だより

(学部・学年は平成28年度当時のものです)

七村奨学生 奨学生の声

(平成28年度入学生から毎年10名に給付。昨年度の10名に加え、今年は新たに1年生10名が奨学生となりました。)

経済学部・1年

今回、この七村奨学生に選ばれてありがとうございました。授与式に参加した際、七村奨学生ができた経緯を聞かされ、またたくさんの方の協力で成り立っていることを知り、これから七村奨学生として頑張っていこうと決意しました。

私はもともと商業高校出身で会計学、経済学に興味を持っています。山口大学での講義は興味深いものばかりでもっと知りたいと思うようになりました。2年生では専門分野に分かれるということで、さらに知識を深めていこうと思います。そして卒業後は経済学部ならではの会計学、経済学を活かした職業に就きたいです。七村様のほかにもこの奨学生のために寄附してくださった方々にとても感謝しています。これから頑張っていきますので見守ってくださると嬉しいです。本当にありがとうございます。

理学部・1年

奨学生に選んで頂き非常に感謝しています。授与式に参加して、七村奨学生であるということを改めて認識しました。将来に期待されるということは一方で、責任を負っているのだと感じています。学業に励むことはもちろんですが、それと同時に学生生活において他の模範となるよう努めなければと思います。

私は現在サークルに入っています。サークルは自分の興味のあることができる、気分転換になり知識なども身に付きます。また、先輩や他の学部の人達とも話すことが多くなるのでコミュニケーション能力を高めたり、友達の輪を広げたりすることができると思います。このようにサークル活動や学業に励むことができる、七村奨学生のおかげです。本当にありがとうございます。

海外留学支援制度「はばたこう！山口から世界へ」 受給者の声

(平成28年度は89名の学生の留学を支援しました。)

派遣国:ロシア

医学部 医学科4年 円谷康佑

私はIFMSA(国際医学生連盟)の交換留学プログラムでロシアのOmsk国立医科大学の癌センターにおいて3週間強、実習し、あらゆる癌の外科手術を見学する機会を与えられました。約3週間のうち、1週間はSamaraで基本的外科手技を学ぶワークショップに参加しました。Omskでは様々な科の手術を見学しました。全ての手術でロシア人医学生が私に同伴し、必要に応じて医師との通訳を務めてくれました。いずれも私にとって初めての体験であり、また実習外の活動も非常に楽しく、充実した日々を過ごすことができました。



派遣国:マレーシア

理工学研究科 機械工学専攻修士2年 山本裕

私は、山口大学の渡航プログラムの存在を知ってから、年2回開催されている渡航プログラムに積極的に参加したり、国際学会へも参加していました。現在までにアジア各国を5箇所、計8度の渡航を経験しました。自由な時間がある学生のうちに、多くの体験をすることは大事です。なぜなら“人生は選択の結果”だと考えているからです。選択を迫られた時の選択肢は、経験量によって多くも少なくもあると思います。今私は、“プログラムに出会えて本当に良かった”と感謝の気持ちでいっぱいです。



派遣国:アメリカ

医学部 医学科4年 平野徹

私はアメリカのウィスコンシン大学に医学研究で留学しました。そこでは優秀な研究者がその頭脳をフル活用し日夜研究に励んでいました。しかしプロジェクトのメンバーには普通の高校生もいました。その高校生は大学入学にむけてキャリア作りのためにバイト代をもらいながら雑用をしていました。始めから知識豊富で賢くある必要はないのです。アメリカでは意外に研究活動を始めるハードルは低いと知りました。



派遣国:イギリス

工学部 社会建設工学科3年 倉崎勇人

短期留学は観光ではありません。今回山口大学基金の援助もあり短期海外プログラムに参加しました。留学前、たかが一月で何が変わるとかと思っていました。しかし実際はレベルの高い授業が用意されており、世界中の同年代の人が自分よりもしっかりと意見を持ち、積極的に発表していました。恥かしい思いをしましたがこの人達と一緒に勉強することで徐々に英語能力だけでなくコミュニケーション能力、意志力、視野も広くなつたと思います。一か月という短い期間でしたが得られるものはたくさんあり、機会があればまた参加したいです。



01 ワンコイン朝食でスタートアップ

吉田キャンパスの学生食堂において、新入生を対象に、ゴールデンウィーク明けの5月8日から5月31日まで「ワンコイン朝食事業」が行われました。この事業は、朝食を摂ることで健康管理や生活習慣を改善し、学業に専念できる生活リズムを整えることを目的としています。新入生は学生証を提示することにより、納豆朝定食を10円で、コロッケ朝定食を50円で、ザ・和食や焼鮭朝定食、洋食セット、朝カレーといったメニューを100円で楽しみました。定価との差額を山口大学と山口大学同窓会が支援しました。



02 本学のキャンパスに2つの美術館が加わりました！

今年4月から県立美術館（山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館）が実施する高等教育機関向けの会員制度「美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入し、学生証を提示することで両館の展示を何度でも無料で鑑賞できるようになりました。優れた美術作品の鑑賞、学習の機会を増やし美術に親しむことで、学生の豊かな感性を涵養することを目的としています。4月～6月の展示「スタジオジブリ・レイアウト展」と「今右衛門の色鍋島」は、GWを挟み3000名余りの学生が鑑賞を楽しみました。



YU-PRSSとは？ ユープラス

広報誌「YU-INFORMATION」や、山大のWEBサイト内の「キャンパスライフ」ページなどの制作に携わる、山口大学広報学生スタッフです。

YU-PRSS("Yamaguchi University Public Relations Student Staff"の略)は、「山大生のあなた(YOU)にも、そうでないあなた(YOU)にもプラスになる情報を届けたい」との想いを込めてつけられました。現在13名のメンバーで広報活動を行っています。



YU-PRSS MEMBER

家永 葵美絵	佐藤 加奈	宮地 弘子
家永 展寛	徐 睦実	宮本 晃伸
鳥田 苑実	高松 安奈	横山 智香
北山 育実	田中 春佳	
近藤 守	田中 裕万	

「キャンパスライフ」はコチラをCHECK! ➤

http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life%20_web/

Event Schedule [イベントスケジュール]

8/4 金	オープンキャンパス	(小串キャンパス・医学部) (常盤キャンパス・工学部)
8/5 土	オープンキャンパス	(吉田キャンパス・人文学部、教育学部、経済学部、理学部、農学部、共同獣医学部、国際総合科学部)
10/28 木	第5回 山口大学ホームカミングデー	(吉田キャンパス)
11/3・4 金・土	第73回 医学祭	(小串キャンパス)
11/12 木	第68回 姫山祭	(吉田キャンパス)
11/18 木	第68回 常盤祭	(常盤キャンパス) 工学部ホームカミングデー

詳細は大学webサイト等で確認の上、お越しください。